

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 5月23日更新

事務事業名		春ウォーキング大会開催事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	上原哲也
	施策	22	生涯スポーツの推進		所属課	生涯学習課	担当者名	榎野 努
	基本事業	71	スポーツへの参加機会の提供		所属班	スポーツ振興班	(内線)	1519
予算科目		会計一般	款 10	項 6	目 1	事業連番 10800	法令根拠	スポーツ基本法
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
						成果優先度評価結果		①
						コスト削減優先度評価結果		②

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・約6kmのコースを自然や文化財に触れながら、2時間ほどかけて散歩する。近年健康ブームにより、ウォーキングについての関心が高まってきた。合志市でも歩くことの大切さ、交流することの楽しさを広めたいという理由で春ウォーキングを開催した。旧合志町・旧西合志町住民の交流を行えるように旧町間を交互にコース設定している。また、ゲーム的要素を取り入れたウォークラリー形式もとりにいれている。
【業務の流れ】	・コースの設定～資料作成～体育指導員実施会議～参加者募集～救護員・参加賞・1日保険等準備～試歩～大会～後片付け
【主な予算費目】	・報償費・消耗品費・役務費・使用料及び賃借料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・ウォーキングに参加して、参加者同士の交流があった、スポーツを始めるきっかけになった、来年も参加したいという結果が寄せられた。また、楽しかった等感謝の気持ちが寄せられた。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動) (DO)		26年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
中央運動公園から郷土資料館経由の弁天山公園周辺のコース約7.5kmで実施し、215人の参加があった。		・竹迫周辺のコースでウォークラリーを開催する。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア:開催回数	回	・大会参加賞購入費、スポーツ傷害保険料の増	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		→ア:人口	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
歩くことによりスポーツを始めるきっかけとなり、参加者同士の交流がある。		→ア:参加者数	人
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
より多くの市民がスポーツを始めるきっかけとなってもらうため。			全体計画
			～年度
			0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	23年度実績(決算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	27年度予定	28年度見込	29年度見込	
①活動指標	ア:回		1	1	1	1	1	1	1	1	
②対象指標	ア:人		56,638	57,206	57,377	58,237	58,785	59,333	59,881	60,429	
③成果指標	ア:人		205	161	200	215	200	200	200	200	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	29		60	60	60	45	45	45
		繰入金	千円								
	人件費	(A)事業費計	千円	11	83	117	39	90	80	80	80
		(A)のうち指定経費	千円	40	83	177	99	150	125	125	125
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	0	0	0	0	0	0	0	0
		延べ業務時間	時間	5	4	5	5	4	4	4	4
(B)人件費計	千円	104	98	93	223	93	378	378	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	419	0	378	888	378	503	125	125		

事務事業名	春ウォーキング大会開催事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	---------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 固定した参加者もあり、年々参加者は増加傾向にある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 コース設定等に趣向を凝らせば参加意欲も上がり、参加者数の向上も期待できる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業なし。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 大会運営謝礼の削減・大会賞品のごみ袋等配布による参加賞の削減等を行っており、削減の余地は無い。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人数で対応している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 参加者の制限はなく公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市歩こう会や体育協会へ移行する方法、総合型地域スポーツクラブがイベントとして実施する方法もある。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

一般道路での事故防止のため、より良い円滑な運営を行う必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					